

環境目標 1 :
2050ゼロカーボンシティをめざした脱炭素の取組により、環境負荷の少ない社会への転換が進んでいる



課題	→ 審議事項 2 にて説明
----	---------------



基本目標	● 省エネ及び再エネ導入の推進 ● 脱炭素型まちづくりの推進 ● 気候変動適応策の推進
------	---

< 指標 >

指標値 (単位)	基準値	中間目標 (2030年度)	最終目標 (2035年度)
温室効果ガス排出量(千t-Co2)	5,231 (2022年度暫定値)		
地球温暖化防止行動の実践度(%)	56.5(2023年度)		

環境目標 2 :
資源の循環利用とごみの発生抑制を進め、循環型社会
が実現している



課
題

- ・岡山市の総体としてのごみ減量とリサイクル率のさらなる向上に向けたごみの分別や資源化に向けた啓発活動の推進
- ・プラスチック資源の分別回収の推進及び食品ロスの削減
- ・循環型社会の構築



基
本
目
標

- 資源化・減量化の推進（3R + Renewable）
- 廃棄物の適正な処理
- 美しいまちづくりの推進

< 指標 >

指標値（単位）	基準値	中間目標 (2030年度)	最終目標 (2035年度)
市民1人1日当たりのごみ排出量（g）	763(2024年度)		
ごみの資源化率（％）	26.88(2023年度)		

環境目標3： 自然と共生する取組により、生物の多様性が地域の豊 かさにつながっている



課 題	- 田んぼや里地里山など身近な自然環境の継続維持 - 開発行為等に伴う生息・生育場所の減少及び急速な生物の個体数減少の抑制 - 自然への関心を高める機会の増加
--------	---



基 本 目 標	- 多様な自然環境の保全と創出 - 野生生物の保護と適正管理 - 生物多様性を重視した地域づくりの推進
------------------	---

< 指標 >

指標値（単位）	基準値	中間目標 (2030年度)	最終目標 (2035年度)
自然共生サイトの認定数（箇所）	2 (2024年度)	10	15
※生物多様性おかやまプランより反映			

環境目標 4 : 安全で快適なまちづくりにより、人々が暮らしに高い 生活の質を実感している



課 題	- 継続的な環境監視による汚染物質の排出を抑制 - 科学技術の発展に伴い明らかになる新たな環境問題への対応 - 宅地化による緑の減少抑制、大規模開発等における緑の確保 - 歴史・文化資産の適切な保存・継承
--------	---



基 本 目 標	- 水と緑あふれる魅力ある空間づくり - 安全で快適な生活環境を維持したまちづくり - 歴史・文化資産の活用と継承によるまちづくり
------------------	---

< 指標 >

指標値（単位）	基準値	中間目標 (2030年度)	最終目標 (2035年度)
大気・水質・土壌環境基準値（SO ₂ 、NO ₂ 、CO、SPM、BOD、ダ 伊キシ）達成率（％）	100(2024年度)	100	100
※次期緑の基本計画より反映			

環境目標 5 : ESDの推進と創造的革新的な取組により、環境課題の 解決が図られている



課題	- 環境保全団体の参加者が高齢化・固定化しないための人材育成 - 事業者など多様な主体による環境保全活動への積極的な活動参加 - ICTなど革新的な技術を活用した多様な保全の推進
----	---



基本目標	- 環境保全活動に主体的に行う人材の育成 - 多様な主体の連携（パートナーシップ）による環境保全活動の推進 - 環境保全を促進する仕組みや制度の準備
------	--

< 指標 >

指標値（単位）	基準値	中間目標 (2030年度)	最終目標 (2035年度)
地球温暖化防止行動の実践度(%)【再掲】	56.5(2023年度)		
環境学習プログラムの参加者数(人)	52,713(2024年度)	70,000	70,000
岡山ESDプロジェクト参加組織数(団体)	397(2024年度)	480	-